

# スマートシティ「つくばモデル」実行計画（つくば市）

高齢者等の交通移動弱者の社会参画を促すため、自家用車に依存することなく、安心・安全・快適に移動できるモビリティを提供することによって外出のしやすいまちを目指す。

## 目標

・日常交通手段が自家用車である人の割合	85.8%（現状）	→	83.5%（2024年度）
・高齢者が安心して暮らせると感じる人の割合	31.4%（現状）	→	34.4%（2024年度）
・スマートシティプロジェクトの利用者満足度	- %（現状）	→	47.2%（2024年度）

## 取組概要

### A I を活用した渋滞事前予測

交通流のデータを取得、分析することで、渋滞を事前予測するとともに解決につながる最適な交通モデルを確立



### 公共交通の最適な運行モデル

人流のデータを取得、分析することで、待ち時間コストが最小になる運行計画の導出など、公共交通機関の最適な運行モデルを構築



### 顔認証を活用した高齢者の外出促進

顔認証技術を用いた、「バス乗降」、「決済」など高齢者の外出促進につながるサービスの展開、仕組の構築



### パーソナルモビリティの導入

交通移動弱者の移動支援として人の生理系とモビリティの一体化や歩行者信号情報システムと連動した小型モビリティを実装



## 将来像



## 体制

つくばスマートシティ協議会

事務局

茨城県  
つくば市  
筑波大学

- ・協議会が実施する事業の諸調整
- ・協議会の会議
- ・協議会の会計
- ・その他必要事項

交通流の最適化による渋滞等の事前予防

公共交通の利用促進に向けた運行サービスの充実

公共交通の利便性向上による高齢者等の外出促進

ラストワンマイルの安心・安全な移動手段の提供

筑波大学  
茨城県  
つくば市

関東鉄道  
筑波大学  
つくば市

日本電気 筑波大学  
常陽銀行 茨城県  
関東鉄道 つくば市  
茨城県科学技術振興財団

CYBERDYNE (株)  
産業技術総合研究所  
茨城県 つくば市

## スケジュール

### ～2021年度実証

- ・渋滞未然防止策の現場実証
- ・適正な運行ダイヤ等の検討
- ・顔認証によるMaaSの実証
- ・パーソナルモビリティの現場実証

### 2022年度～実装

- ・渋滞未然防止策の実行
- ・新たな公共交通運営形態等の検討
- ・顔認証による各種サービスの実装
- ・パーソナルモビリティの実装